

[成果情報名] 「オキナワ」台「日川白鳳」の垣根仕立ての生育と果実特性

[要約] 「オキナワ」台「日川白鳳」は垣根仕立てに整枝すると斜立主幹形より樹容積の拡大は早く、樹勢は安定しやすく収量は高い。果実重は垣根仕立てが斜立主幹形より大きい。

[キーワード] モモ、オキナワ、日川白鳳、垣根仕立て

[担当] 長崎果樹試・生産技術科

[連絡先] 電話0957-55-8740、電子メールs26700@pref.nagasaki.lg.jp

[区分] 果樹

[分類] 指導

---

[背景・ねらい]

モモ「オキナワ」を台木に用いると自発休眠覚醒のための低温遭遇時間が従来の共台に比べ大きく短縮でき、有望であるが、栽培知見が無い。そこで「日川白鳳」の整枝方法について検討し、生育、収量および果実品質を調査した。

[成果の内容・特徴]

1. 垣根仕立ては斜立主幹形より樹容積が大きく、着果数および収量も多い（表1）。
2. 垣根仕立ては斜立主幹形より短果枝、中果枝の割合が高い（図2）。
3. 果実重は垣根仕立てが斜立主幹形より大きく、着色歩合はやや高い。果形指数、糖度およびpHは整枝法による差はない（表2）。

[成果の活用面・留意点]

1. 7.2℃以下の低温遭遇時間が600時間経過後に加温を開始したハウスにおける成果である。
2. 垣根仕立ては樹齢4年生時に主幹形から樹型改造した。

[具体的データ]

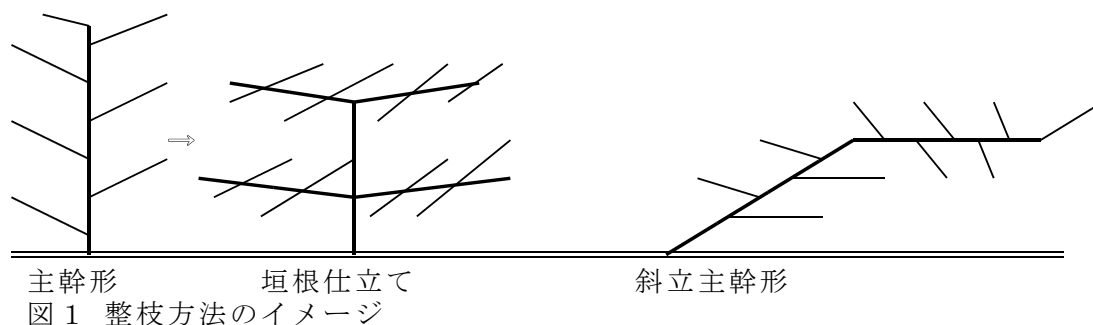


表1 オキナワ台日川白鳳の整枝法と樹容積、着果数および収量の推移 (2003~2007年)

	整枝法	樹 齢			
		3年生	4年生	5年生	7年生
樹容積 (m <sup>3</sup> )	垣根仕立て <sup>2</sup>	12.1	15.2	16.9	23.3
	斜立主幹形	6.9	9.1	11.0	14.5
着果数 (果/樹)	垣根仕立て	55	105	155	232
	斜立主幹形	31	80	102	110
収量 (kg/m <sup>2</sup> )	垣根仕立て	1.46	2.72	4.01	2.86
	斜立主幹形	0.91	2.64	3.00	1.55

<sup>2</sup> 樹齢4年生時に主幹形から垣根仕立てに整枝

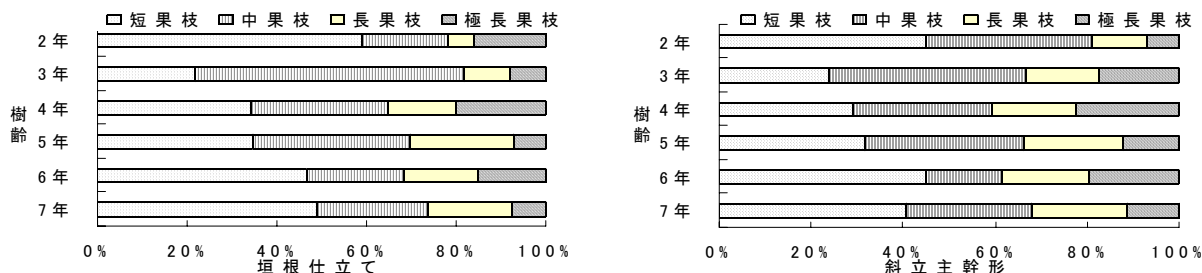


表2 オキナワ台日川白鳳の整枝法と果実品質の推移 (2003~2007年)

	整枝法	樹 齢					
		3年生	4年生	5年生	6年生	7年生	平均
果実重 (g)	垣根仕立て	172.9	188.1	210.3	220.3	178.0	190.0
	斜立主幹形	147.1	179.6	185.5	160.1	160.1	168.4
果形指数 <sup>2</sup>	垣根仕立て	103.0	106.9	103.9	102.3	96.0	102.4
	斜立主幹形	101.0	104.0	105.6	104.4	96.2	102.2
着色歩合	垣根仕立て	8.3	5.9	6.4	7.2	6.6	6.9
	斜立主幹形	7.3	5.1	6.6	5.6	6.8	6.3
糖 度 (Brix)	垣根仕立て	12.3	10.5	11.8	11.5	10.4	11.3
	斜立主幹形	11.8	11.0	11.9	10.9	10.6	11.2
p H	垣根仕立て	4.22	4.75	4.77	4.68	4.56	4.60
	斜立主幹形	4.31	4.90	4.60	4.34	4.38	4.51

<sup>2</sup> 果実側径/縦径×100

[その他]

研究課題名：新整枝法による落葉果樹管理作業の軽労化と多収技術の開発

予算区分：県単

研究期間：2002~2007年度

研究担当者：田中 実、林田誠剛、松浦 正